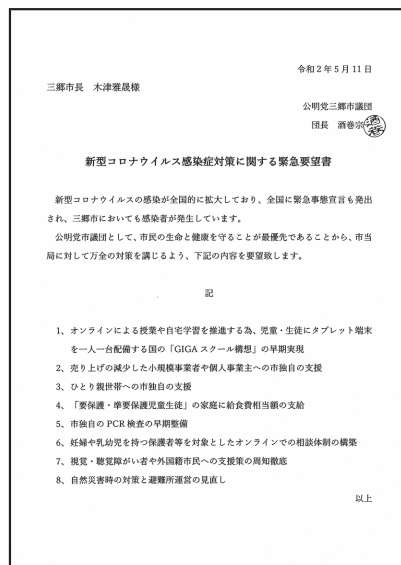


## 新型コロナ対策で、 市長に緊急要望書を提出!!

公明党三郷市議団は、緊急事態宣言が延長されたことにより、外出自粛や休業要請などで、様々な厳しい状況に置かれている市民に対して、三郷市独自の支援対策を講じる様、8項目の緊急要望書を5月11日、木津市長に提出しました。

左から佐藤・鈴木・酒巻・木津市長・中野・鳴海



緊急要望書原文

### 〈要望内容〉

- 1、オンラインによる授業や自宅学習を推進する為、児童・生徒にタブレット端末を一人一台配備する国の「GIGAスクール構想」の早期実現
- 2、売り上げの減少した小規模事業者や個人事業主への市独自の支援
- 3、ひとり親世帯への市独自の支援
- 4、「要保護・準要保護児童生徒」の家庭に給食費相当額の支給
- 5、市独自のPCR検査の早期整備
- 6、妊婦や乳幼児を持つ保護者等を対象としたオンラインでの相談体制の構築
- 7、視覚・聴覚障がい者や外国籍市民への支援策の周知徹底
- 8、自然災害時の対策と避難所運営の見直し

## 6月議会の補正予算で多くの要望が実現しました!!

詳細は裏面をご覧ください

◎オンラインによる授業や自宅学習を推進する為、児童・生徒にタブレット端末を一人一台配備する国の「GIGAスクール構想」の早期実現

## A 分散登校・家庭学習支援等に活用するためICT環境を整備

市立の小中学校において、「1人1台」のパソコンを整備すると共に、「全校」にネットワーク環境を整備します。パソコンは、キーボード入力・タブレット操作の両方を学べる仕様を想定。文科省のGIGAスクール構想と歩調を合わせ、教員の遠隔指導スキルの研究、子どもに通信機器を待たせることへの保護者の不安の解消、Wi-Fi等の通信環境がない家庭への支援策等も含め、長期化した学校休業による遅れを取り戻しつつ、「新しい生活様式」を考慮した「子どもの学びの機会」を迅速に確保します。

予算 4億2,073万円

◎自然災害時の対策と避難所運営の見直し

## A 避難所用の感染症蔓延防止物品の備蓄品を購入

避難所での感染症拡大を防ぎ、避難所を利用する市民や職員を感染症から守るための消耗品及び防災資機材を購入します(指定避難所・公共施設計41カ所分)。

※6月議会の一般質問でも避難所施設の拡大等を質問致しました。

予算 3,423万円

◎市独自のPCR検査の早期整備

## A 三郷市PCRセンターが5月27日に開設

実施方法:市内医療機関からの紹介のみ  
(完全予約制)

◎売り上げの減少した小規模事業者や個人事業主への市独自の支援

## A 中小事業者が取り組む業態転換等のコロナ対策に最大70万円の補助

「三郷市がんばろう企業応援事業補助金」制度を拡充し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた消費行動の変化等に対応して事業を継続・発展するために実施された取り組みを対象に、全額補助(上限70万円)の「特別枠」を創設します。

予算 5,684万円

◎ひとり親世帯への市独自の支援

## A 「ひとり親世帯」に子ども1人あたり3万円を支給

児童扶養手当を受給する「ひとり親世帯」を対象に支給します。

予算 5,178万円

◎視覚・聴覚障がい者や外国籍市民への支援策の周知徹底

## A 5月26日から市長メッセージを手話通訳士付きで動画配信

市のホームページから、見る事が出来ます。

## 図書館など市内8カ所の読書拠点に「貸出図書用消毒機」を導入

今回の補正予算で、過去に一般質問で要望してきた「貸出図書用消毒機」が導入されます。

予算 1,000万円

